



全労連青年部ニュース

# YOUTH TOPIC

つながる・たたかう・支えあう青年部を

ホームページ<http://www.zenroren.gr.jp/jp/seinen/> ブログ<http://blogs.yahoo.co.jp/zenrorenpower>

## ユニオンニュースアカデミー2018

5月26日（土）～27日（日）、全労連青年部はユニオンニュースアカデミー2018『見て、知って、語って、じわっと感じる身近な憲法』を開催しました。全国から集まった青年が二日間にわたり横須賀軍港をめぐるフィールドワーク（FW）と学習会「9条が変えられたらどうなる?」、改憲に関する疑問や意見を考え議論する憲法カフェの三つの企画に参加し憲法について自分の思いや意見を交わし議論を行いました。

### 横須賀軍港フィールドワーク



横須賀軍港をめぐるFWでは鈴木和弘さん（神奈川県平和委員会）がガイドを務め、「ベトナム戦争、湾岸戦争、アフガン攻撃、イラク戦争で戦端をきったのは横須賀母港の艦船だ」と日本はアメリカの戦争と無関係でないことを訴えました。青年が原子力空母と原発の関連について質問すると、「原子力空母は日本の原子力規制委員会の対象外。しかも、いつ作戦で出港し帰港するかも一切知らされない」と話しました。

参加した青年からは「(たまたま入港していた) 原子力空母は公園から見えない位置にある。原子力発電所と同じで、危険はつねに目に入らないところにあるが、1発の爆弾や事故で一帯を壊滅させてしまう恐ろしいものと隣り合わせであることには変わらない」「軍港めぐりの船上アナウンスは、まるで遊園地のアトラクションのようなテンション。人をも殺す兵器を美化して紹介し

ているように感じた。」「鈴木さんのアナウンスにはあって、船上アナウンスで紹介しない部分は弾薬庫。こんなにあるのかと驚いた。何か他にも隠されていてもおかしくないな」「自衛隊のガイドは、軍艦はすごい能力でかなり高額だが防衛に必要不可欠だという感じだった。それに対して、鈴木さんのガイドはもっと詳しく説明の補足しており、同じ建物・軍艦の説明でも印象がかなり変わったことが強く印象に残った。自衛隊・国が正しく説明せず印象操作を行っていると感じ、不安感が強くなった」「日常では感じることもない戦艦、武器など軍隊や武力、戦争というものがリアルに身近に感じました」といった感想がよせられました。





## 講演「9条が変えられたらどうなる？」



FW 終了後は千坂純さん（日本平和委員会・事務局長）を講師に学習会を行いました。千坂さんは、「憲法への自衛隊明記は、2015年に成立した安保法制を前提にしている。安保法制によって自衛隊は専守防衛の制約が取り払われ、他国と戦争できる状態にある。現在の憲法に照らせば違憲。つまり、9条改憲によって自衛隊を名実ともに軍隊にすることが目的だ」と安倍9条改憲の危険性を指摘しました。千坂さんの話を聞いて、核兵器禁止条約や南北首脳会談等、世界が平和に向けた対話をしている中、憲法を生かして私たちができないか、職場や地域での学習会の様子や悩みも語られました。

参加した青年からは「安保法制によって戦争の準備は整っているとは知らなかった」「憲法9条が変えられると本当に危険」「戦争法成立後、どういった形で変わっていったのか、具体的な事例と時系列で話していただき、すごくわかりやすい内容でした。ニュースでは報道されていても、自身で調べて、考え、行動することの大切さを学びました」といった感想がよせられました。



## 憲法カフェ



二日目の憲法カフェでは、アドバイザーに青龍美和子弁護士を迎え改憲にまつわる4つのテーマで疑問や課題にどう答えるかを議論し、グループトークの結果を寸劇や模造紙などを使い、各グループが工夫を凝らした発表をしました。

【テーマ①】『北朝鮮が攻めて来たらどうするのか？』

「北朝鮮との対話を進める」「対話を進めるために外務省の職員を増やす」「ミサイルを打たれるのはこわいが力では解決されない」と意見が出されました。

【テーマ②】『自衛隊はもうあるから改憲してもいいのでは？』

「安保法制が前提とされた自衛隊であることを見落としてはいけない」「自衛隊が何を持っていて、何をしているのかきちんと国民に示すべきでは？」と話し合いました。

【テーマ③】『9条が変わっても生活に影響はないのでは？』

「9条が変わったら予算面でも軍事が優先される」「9条3項に自衛隊が加わると、予算面でも軍事が優先され、社会保障や私たちの暮らしにも影響があるのでは？」と意見が出されました。

【テーマ④】『憲法はアメリカ人が作ったのでは？』

「憲法を考えたのはアメリカ人だけど、いいものはいい」「過去の戦争の反省に基づいた結果が今の憲法」とまとめました。

青龍弁護士は、「世界は武力ではなく対話による紛争解決を目指している。軍縮に向けた国際的合意や核兵禁止条約はそのことを証明している。平和の先頭に立つ日本を実現するためにも、現在の自衛隊は何を持っているのか、何をしているのか実態を知ることが大切だ」とコメントしました。様々な議題について参加者が即興で寸劇を演じて考えを伝える、模造紙で表現するなど、様々な方法で憲法に対する考えが議論されました。

参加した青年からは「身近な疑問や質問をグループで話し合っ、その後弁護士さんの説明を入れていく形、すごくいいなと思いました。自分たちの組織でもどう学習するかいつも悩むので、『憲法 CAFE』をそのまま持ち帰って、実行したいです！」「戦争は連鎖して悲しみを生み続けることを改めて認識しました。それぞれができることを懸命に行うことで武力は必要ないと思います。戦争の違法化は日本の誇りだと思います」「憲法9条を変えたいと思っているのはアメリカ。現政権の考えこそ、アメリカの押し付け。というまとめがとてもストンと胸に落ちました」「憲法9条が改憲されると私たちの生活が変わってしまうと改めて考えさせられるような内容でした。国民が自衛隊に求める役割は人命救助や災害復旧であるのに、戦争が前面にでてくるのはとても恐ろしいと思いました」といった感想が寄せられました。

見て、知って、仲間と大いに語って交流を深め、じわっと憲法が近づいた2日間となりました。

